



養徳の森

令和6年10月18日（金）

学校だより 第6号

玉陵中学校 教頭 池田 祐樹

「大好き 玉陵」

「命」「人」「心」「物」を大事にする生徒に、そして、「**自律貢献**」

松本 恒明校長が逝去されました

毎朝校門で子ども達を笑顔で出迎えられた校長先生。毎日笑顔で子ども達の活動を楽しそうに見て回られる校長先生。職員室でも笑顔で先生方に話しかけられる校長先生。校長先生の笑顔を見ると自然と周りも笑顔になります。思い返せば、校長先生の周りは常に「笑顔」に包まれていました。

10月9日（水）、朝、松本恒明校長のご親族の方から一報が入りました。

すぐに職員に連絡し、子ども達にもその日のうちに伝えました。職員にも子ども達にも涙が溢れます。その日の夜には通夜が開かれ、多くの子ども達の参列がありました。弔問客は斎場の外にも溢れ、松本校長先生のこれまでの功績と人望の厚さがうかがえました。

いよいよ文化祭に向けて動き出しました！これからの子どもたちの取組が楽しみです。

10月11日（金）文化祭当日は、保護者の皆様方のご観覧をお待ちしております。

これは松本校長が前号（学校だより第5号）に残された文章です。子ども達が一生懸命取り組む合唱、劇などのステージ発表、展示・・・とてもとても楽しみにされていました。子ども達の頑張りを保護者の皆様や地域の方々に知ってもらえることに何よりも幸せを感じておられました。

残念ながら松本校長は文化祭当日を迎えることはできませんでしたが、校長先生が文化祭をとて楽しみにされていたことを文化祭前日に子ども達に伝えました。

まだ職員も子ども達も悲しみに暮れている10月10日でした。

10月11日（金）文化祭、開催！



10月11日（金）、文化祭が始まると前日までの悲しみが嘘のように、子ども達の

全力の姿が見られました。全力で頑張り、全力で楽しむ。まさに今の玉陵中学校を表しているかのような1日でした。



成功をつかみ取るためにクラス全体で団結する姿がありました。



「これまでの私たちの練習の成果を全部見てほしい」「校長先生に届け！」そんな気持ちが伝わってきました。子ども達から一歩踏み出す勇気をもらいました。そして子ども達の強さ、逞しさ、頼もしさを感じました！



少しずつ少しずつ玉陵中は前に進み始めています。

玉陵中は一致団結して、さらに大きく成長した姿を見せていきます！